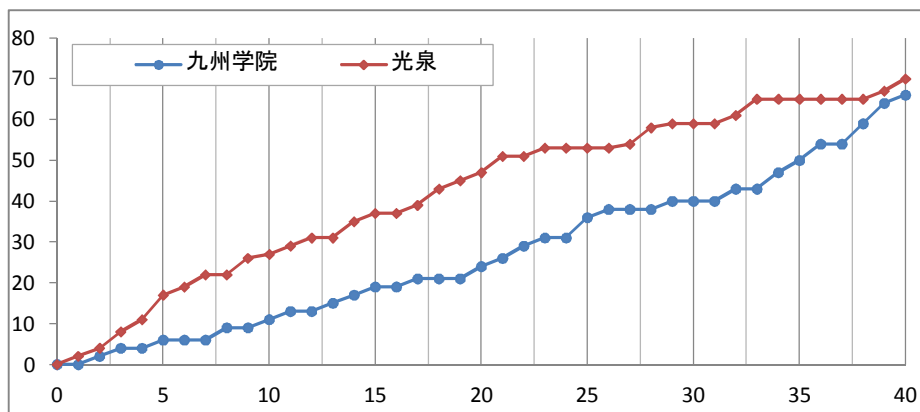


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦	九州学院 66	70 光泉
主審 山崎 雅洋	(熊本) ●	○ (滋賀)
副審 野津 健		

No. 29e5 日時: 2013年7月29日(月) 16:10 会場: 大分県立総合体育館



九州学院

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 奈良 陽人 (C)	0	0	0	0	3
5	* 岡本 遼	10	0	4	2	3
6	* 井垣 朋也	9	0	3	3	2
7	* 福田 陽平	17	3	3	2	5
8	* 岸本 颯志	4	0	2	0	2
9	野口 龍太郎	-	-	-	-	-
10	米村 律志	3	0	1	1	0
11	村上 雄大	10	1	2	3	1
12	村嶋 聡紀	2	0	1	0	2
13	右田 卓也	0	0	0	0	2
14	古家 凜	9	1	2	2	2
15	自見 冬星	2	0	1	0	2
コーチ	田中 洋平					
合計		66	5	19	13	24

光泉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 杉 聖真 (C)	14	0	6	2	2
5	下川 剛央	0	0	0	0	2
6	* 杉本 亮太郎	5	1	1	0	1
7	* 東 大洋	12	0	4	4	2
8	* 杉 涼平	10	0	2	6	1
9	高木 克大	-	-	-	-	-
10	* 雲林院 昌人	25	0	10	5	3
11	関西 正成	-	-	-	-	-
12	高木 伸久	0	0	0	0	5
13	丸田 晶稀	4	0	1	2	2
14	曾我 亮太	-	-	-	-	-
15	奥田 克彦	-	-	-	-	-
コーチ	寺田 均					
合計		70	1	24	19	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1ピリオド九州学院はオールマンツォー、光泉は2-3ゾーンでスタート。九州学院は#6、光泉は#10の得点で先制。序盤はお互いミスが目立つも、光泉は#6のドライブ、3Pや#10の高さを活かして得点を重ねる。九州学院4-13となった所でタイムアウト。その後、九州学院は落ち着いたパス交換から得点するものの、光泉の勢いは止まらず、11-27で終了。第2ピリオドに入ると光泉のボールマンに対する厳しいディフェンスが効果的に機能し、九州学院は思うようにシュートを決めることができない。中盤は九州学院の激しいダブルチームDef、#12や#14のミドルシュートで、一進一退の攻防が続くが、光泉が#7や#4のミドルシュート、相手ファイルによって得たフリースローを落ち着いて決めて、24-47で終了。第3ピリオド開始から、九州学院の激しいDefが機能し始める。光泉はミスが続きノーゴールの時間が続く。九州学院は#12のスティールや合わせから#5、#8や#15が得点を重ねて、一時は15点差まで詰め寄るが、終盤に光泉は#4がミドルシュートや#10がリバウンドシュートをねじ込み40-59で終了。第4ピリオド序盤、光泉は#10や#7の得点でリードを広げる。九州学院はオールコートDefを積極的に仕掛けてスティールによる連続得点や#7の3Pで、残り4分50秒で13点差に詰め寄る。光泉はタイムアウトを取るが、九州学院の勢いは止まらず、#7の連続得点で8点差。たまたらず光泉は3回目のタイムアウトを取るも、九州学院は相手ファウルのフリースローや#11の3Pを決めて残り1分30秒で1点差に迫る。一方、光泉は#4がミドルシュート、#10がフリースローを落ち着いて決めて残り16秒で64-70の3点差。九州学院は最後まで粘るも、結局66-70で試合終了。序盤のリードを守り切った光泉に対して九州学院の粘りが光った好ゲームであった。

記載者 尾形 公一郎 (所属) 大分県バスケットボール協会